



2005 ~ 2006 年度
R I テーマ

SERVICE Above Self 超我の奉仕

超我の奉仕

国際ロータリー会長 カール ヴィルヘルム ステンハマー (国籍・スウェーデン)

2720 地区

別府中央ロータリークラブ



例会日 火曜日 12時30分
ところ トキ八別府店 7F ぼたんの間
TEL 23-1111
事務所 別府市西野口町1番1号 青山通りビル3F
〒874-0931 TEL (0977) 23-9000
FAX (0977) 23-9019
http://www.beppu4rc.jp/chuo/
E-mail:info@beppu4rc.jp

理事	鳴海淳郎	理事	吉富今男	役員	会長	平野英壽	S A A	河村貴雄
"	溝部 仁	"	薬真寺章三		副会長	上妻 浩	直前会長	森 宗明
"	村津忠久				幹事	木村きぬゑ		
"	梅津ヤヨイ				会計	岩尾昭治		

VOL . 18 - 39
2006 年 5 月 16 日

第 819 回 例会

会報委員長 大島由美子

点 鐘 12:30
体 操 自律神経強化体操
R S 別府中央 R.C. の歌
唱 歌 茶摘
B G M 「日本の歌百選・四季」より
たなばたさま
里の秋
冬景色 他
ゲスト 松井督治氏
(OBS大分放送アナウンス部部长)
ビジター 高村昭夫(別府RC)
浦松 傳(別府北RC)

出席報告

委員長 津末美代子

本日	会員総数	26名
	出席者	19名
	事前メイクアップ	0名
	理事会承認	0名
出席	出席免除	1名
	欠席数	6名
	出席率	76%
前々回の訂正	出席率	68%
	事後メイクアップ	2名
	理事会承認	0名
	出席免除	1名
4/25	修正出席率	80%

連続 - 回
通算 - 回 100%

・メイクアップ

事前
事後 赤嶺(熊本東) 亀井(大分南)
欠席 花田、亀井、溝部、小川、土谷、後藤(孝)

場所 別府市ピーコンプラザ3F「小会議室31」
参加対象者 提唱ロータリークラブ=次期インターアクト委員長(代理者可)
インターアクトクラブ=次期会長・副会長・幹事、顧問教諭

申込締切 5月22日(月)
今年度は登録料及び分担金は不要です。
(I A 大分県連絡協議会より負担)
当日、昼食(弁当)を準備致します。

5. 第11回定例理事・役員会報告
(平成18年5月9日(火)13:40~於:トキ八別府店例会場 9名)

報告事項

2006-2007年度 委員会構成(案)の件。

幹事報告

幹事 木村きぬゑ

- 本日の卓話
『元気が出る大分弁となしかの笑い』
OBS大分放送アナウンス部 部長 松井督治氏
- 本日のゲスト
松井督治氏 (OBS大分放送アナウンス部 部長)
- RI第2720地区「地区指導者育成セミナー」開催のお知らせ
日時 平成18年5月26日(金)
「会議」14:00~17:30
議題: 1) 基調講演
2) クラブ・リーダーシップ・ファン(CLP)
3) 国際奉仕とWCSプロジェクト
4) 指導力と意欲を起こさせる方法
5) 質疑応答
「懇親会」18:00~20:00
場所 メルパルク熊本3F「阿蘇」 会議・懇親会共
(熊本市水道町15-11 ☎096(355)6311)
参加者 クラブ会長、歴代会長経験者
懇親会費 6,000円
登録締切 5月17日(水)
登録ご希望の方は、本日幹事または事務局までお申し出下さい。
- RI第2720地区「インターアクトクラブ次期会長・幹事研修会」開催のお知らせ
日時 平成18年6月3日(土)
9:30~受付/10:00~開会/15:30閉会



審議事項

- 1) 第56回 “社会を明るくする運動” 「標語パネル購入」のついで協力お願いの件。別府市実施委員会事務局より * 回覧
パネル：別紙参考 単価：1枚2,000円
- 2) 2005-2006年度後期立替金請求の件。 * 承認
- 3) 「第4回 新・旧クラブ協議会」の件。 * 承認
例会日 平成18年6月20日(火)
12:30~例会/終了後~クラブ協議会
場 所 トキ八別府店例会場
- 4) 「会長・幹事慰労会」の件。 * 承認
例会日 平成18年6月27日(火)
18:30~例会/終了後~慰労会
場 所 竹の井ホテル
会 費 7,000円 * 全員徴収
- 5) 5月・6月例会予定の確認
5月2日「定款第5条第1節(C)に基づき休会」
9日「会員卓話」中島澄人会員
16日「ゲスト卓話」OBS大分放送 アナウンサー松井督治氏
23日「会員卓話」近藤賢司会員
30日「会員卓話」高宮勝美会員
6月6日「新会員卓話」亀井孝会員/高田由子会員
13日「ゲスト卓話」毎日新聞 出版開発本部 水口義弘氏
岩尾昭治会員より、卓話の代わりに資料配布。
20日「第4回(新・旧)クラブ協議会」
27日「会長・幹事慰労会」18:30~ 於:竹の井ホテル
- 6) 「世界遺産」について卓話申し出依頼の件。 * 承認
日 時 平成18年6月13日(火)
卓話者 毎日新聞 出版開発本部 水口義弘氏
6. 5月14日(日)13:00~別府大学・多目的室に於いて「米山奨学生オリエンテーション」が開催され、木村きぬ系幹事が出席致しました。
7. お祝い
結婚記念日 高宮勝美会員(5月17日)
* ご自宅にお花が届きます。
河村貴雄会員(5月20日)
* ご自宅にワインが届きます。
8. 例会変更のお知らせ
くにさきRC 5月24日(水)の例会は、夜の例会の為 同日18:30~いこいの村国東に時間変更
湯布院RC 5月24日(水)の例会は、早朝例会の為 同日6:00~「彩岳館~七色の風までの道の清掃」に時間・場所変更
大分中央RC 5月24日(水)の例会は、大分臨海RCとの合同親睦例会の為 同日18:30~大分第一ホテルに時間変更
大分南RC 5月26日(金)の例会は、野外家族例会の為 5月28日(日)九州国立博物館・劇団四季アイーダ観劇」に日時・場所変更
大分臨海RC 5月29日(月)の例会は、家族親睦バス旅行の為 5月28日(日)九州国立博物館・大宰府他」に日時・場所変更

大分西RC 5月31日(水)の例会は、定款第5条第1節に基づき休会

9. 次週の予定
「会員卓話」近藤賢司会員
10. 本日の回覧
第56回 “社会を明るくする運動” 「標語パネル」希望購入
大分1985ロータリークラブより創立20周年記念誌
「第4回 新・旧クラブ協議会(6月20日例会)出・欠席
「会長・幹事慰労会(6月27日例会)出・欠席
11. 本日の配布
週報818号
「ロータリー・Eランニング・センターについて」
鳴海淳郎R情報委員長より

スマイルボックス 委員長 梅津ヤヨイ

平野会長
松井さん、ようこそいらっしゃいました。今日は楽しいお話をよろしく。「こげな、ちいせークラブようきちくれたなー」
上妻会員
松井さん、本日の卓話楽しみです。よろしくお祈りします。
木村会員
今日は楽しみで出席しています。松井督治さん、御苦労様です。じかに話が聞ける事に感謝。
鳴海会員
OBS松井さん、ようこそいらっしゃいました。どうぞよろしくお祈り致します。
村津会員
本日のゲスト・松井さんには、孫の孝仁が職場で大変お世話になっております。感謝してスマイル。
河村会員
いつもテレビで拝見している松井アナウンサーがいらっしゃるといふことで、途中抜けて来ました。卓話が本当に楽しみです。
葉真寺会員
松井さん、忙しいスケジュールの中、ありがとうございます。今日は持ち前のトークで中央ロータリーの会員の皆様の心をなごませて下さい。この会には、あなたの後輩の村津アナのおじいちゃんがいます。
吉富会員
本日のOBS大分放送アナウンス部部长、松井さんの卓話大変楽しみです。よろしく御祈り致します。
高宮会員
結婚記念のお祝いありがとうございます。早いもので37回になります。これからも仲良く「ヤッテ」いきます。
松井部長の卓話、楽しみにしています。
津末会員
最近町がにぎやかですね。一週間頑張ります。久しぶりに出席しています。出席委員長失格ですね。



大島会員

OB Sの松井さん、ようこそおいで下さいました。テレビで見るよりずうっとステキですネ！今日は卓話を楽しみに来ました。

赤嶺会員

ゲストの松井督治様、卓話ありがとうございます。感謝してスマイル。

土谷会員

本日、松井アナウンサーの卓話、とても楽しみにしていましたが、例会出席できず大変申し訳ございません。来週は必ず出席しますので、よろしく願います。

梅津会員

あっ！ステキな方、どこのロータリアンだったかしら？あっそうだ、今日はOB Sの「なしかの松井アナウンス」さんだった。実物の方がなおステキですネ。卓話、楽しみにしています。

卓 話

元気になる大分弁となしかの笑い



OB S大分放送アナウンス部
部長 松井督治氏

本日は、お招きいただきましてありがとうございます。

別府中央ロータリークラブの皆様には、日頃からOB Sが大変お世話になっています。

今日は、「元気になる大分方言となしか！」というテーマで、お話をさせていただきます。

私たちの暮らす大分県は、海、山、川、温泉、食べ物、料理、お菓子、酒、伝統文化など、素晴らしい宝がたくさんありますが、大分の言葉「大分弁」も、伝えていかなければならないもののひとつだと思います。

これは、全国どこでも言えることですが、方言は、その土地の風土と長い歴史の中で生まれ、培われ、受け継がれてきた地域の大切な「言葉の文化遺産」です。

しかしながら、昭和28年以降、民放のラジオやテレビの放送が始まって、全国共通語がどこに言っても聞けるようになったため、それぞれの地方の「方言言葉」が、テレビ、ラジオから流れてくる共通語の中に薄められ始め、テレビ、ラジオの時代が半世紀過ぎた現在では、時代の変化、社会の変化、価値観の変化とともに、身近で貴重な「方言」が、減りつつあります。これは、やはり「放送局」の責任ではないかと考えたのが、私たちが「ラジオ」や「テレビ」で、大分方言のコーナーをやり始めたきっかけでした。

そこで、大分県の言葉の文化である「大分弁」をなんとか収集、保存、継承できないかという思いで、ラジオやテレビで呼びかけて「使おうえ！大分弁」「大分方言辞典」を作りました。皆さんから寄せら

れた膨大な大分弁を整理、編集していく過程で、大分弁の様々な魅力や特徴が浮かび上がってきました。

まず最初に、大分弁は、県内の中部、北部、南部、西部と地域や年齢によって、使われている言葉やその意味が違うものがあります。これは、大分が小藩分立時代が長かったことの影響ではないかと思われる。また、宇佐八幡や六郷満山文化が開いた歴史的背景により、奈良、平安朝の古語が方言となつて多く残っていること。南蛮貿易の影響で、外国語（ポルトガル語）が方言として残っていることなどがわかりました。

また、大分の歴史的背景や大分人の気質、生活の中から生まれてきた言葉として、とても親しみが持てる響きがあり、敬語表現が少なく、荒っぽく聞こえますが、年配の方が使うと、とても温かみを感じます。

従って、大分人同士が話をする際には、大分弁が、一番細かいニュアンスまで伝えることができる言葉だと思っています。私たちの気持ち伝わる温かい大分弁を是非、楽しく使っていただきたいと思えます。

さて、その大分弁で語られている番組、OB Sラジオで毎週土曜日の夕方4時40分から放送中の「松井督治の夕方なしか！」は、平成7年、1995年の11月にスタートして、現在10年目、放送も550回を越えました。大変多くの皆さんにお聞きいただいております。毎週、100通近い「なしか！」が、ハガキやメールで寄せられています。そして、番組を本にした「OB Sラジオ 夕方なしかの本」は、現在7巻まで出ていますが、出るたびに、本屋さんで品切れという状況で、現在まで、13万部を超える売れ行きとなっております。番組は、私と大分のコピーライター、吉田寛さんの二人でお送りしています。「なしか！」とは、もう皆さんご存知、「なぜ」「どうして」「なぜなんだ」「どうしてなんだ」という意味の大分方言でして、この「夕方なしか！」という番組は、大分県民の皆さんから、日常生活の中で「なしか！」と思ったことを、ハガキや留守電、メールで送っていただくというシンプルな番組です。

私たち大分人が普段使っている「大分方言」で綴った、「なしか！」の数々からは、ふるさとの言葉が持つ独特の魅力と、そこに暮らす人たちの「あたたかさ」そして「おもしろさ」が、とてもよく伝わってきます。

世の中には、「なしか！」と思うことが、本当にたくさんあります。「日本の景気が、なかなか回復せんのは、なしか！」、「一生懸命、働いてん、給料が上がらんのは、なしか！」とか、家庭のこと、特に、夫婦の間のことでは「日頃、取り合ってもらへん女房が、給料日だけやさしいんは、なしか！」とか。こりゃ、本当に「なしか！」です。その他、ご近所のことや友人のことなど、私たちの日常には、「なしか！」と思うことがたくさんあります。実は、番組に寄せられる「なしか！」の中で、一番多いのは、夫婦の「なしか！」なんです。

そして、番組に寄せられる「なしか！」は、やはり今日の社会を反映してか、家庭でお父さんが、かなり弱い立場にいるんだなあということが痛烈に分



かる「なしか！」が多いんです。

眠っちゃん女房が、突然、笑い出したけん、「どげえしたんか？」ち、ついたら

「あら、あんた、生きちよったんかえ？」ち言うた。

なしか！ (大分市 48 才 自営業 男性)

結婚する前は、「あなたのためなら」ち思っていたのに、結婚二十五年の今、

「あんたん為に、なんでわたしが」と思ってしまうのはなしか！ (大分市 46 才 主婦)

「なしか」のはがきの中から見えてくる、最近の家族像は、どうもお父さんが虐げられている姿が多いんですが、ラジオをお聞きの方からは、「そのとおり！」「うちもそうじゃ！」という共感のハガキから、「うちだけじゃなかったんじゃな」という、ちょっと安心したような感想が寄せられます。

でも、家の中で誰が強かろうと、どんなに、母ちゃんから「ひどい言葉」をかけられようと、番組に寄せられる「なしか」のハガキには、なんとなく温かさを感じられます。つまり、「なしか！」と思うことがあって、相手に「ひどい言葉」を言っても、その根底には、家族に対する愛情がお互いにあるから、父ちゃんも、母ちゃんも、夫婦喧嘩には至らないということではないでしょうか。

今のような、ドライで殺伐とした時代、家族や地域で、お互いの生き方に関心を持ち、「なしか！」という言葉に託して、思いを述べ合うことは、大切なコミュニケーションのひとつであり、失われつつある、地域や家族の絆の確認作業でもあるといえます。

「夕方なしかの本」を買った方からは、いろいろお手紙をいただきました。中でも、ご主人を亡くされ、ここ 10 年、笑ったことがなかったという 60 代の女性が久しぶりに、お腹を抱えて笑ったというお手紙や、病気で入院中の家族や友達に持っていったら、とても喜ばれた、また、大分出身で、県外に暮らしている親戚や友達に送ったら、面白くて、懐かしいと大好評でしたという、内容のお手紙を多くいただきました。皆さんに喜んでいただけたことが、この番組を続けている私たちの支えです。

また、この本は、日本全国やアメリカ、ドイツ等、世界各地に住んでいる大分県出身の方たちからも、「大分弁がなつかしい」「大分での子どもの頃の生活が思い出された」「大分に帰りたい」など、インターネットのメールを通じて、反響のお手紙をいただきました。

ふるさとを思う気持ちは、いくつになっても変わりません。いや、むしろ強くなるのかもしれない。

今後とも、テレビの「カボスタイム」やラジオのちよるちよるワイドで、大分弁に親しめる楽しいコーナーを続けていきたいと思っています。

そして私は、大人だけでなく、大分の将来を担う子どもたちに、もっと「大分弁」を好きになってもらいたいと思います。

子どもたちにとって、近所のおいさん、おばさん、おじいちゃん、おばあちゃんと、気さくな大分弁で話をするのは、大切なコミュニケーションの勉強にもなるでしょうし、地域のコミュニティの復活、地域の活力にもなるでしょう。

逆に子どもたちが「大分弁は田舎くさい」「恥ずかしい」から嫌いというのは、そのままそっくり、自分たちが暮らす、地域の否定でもあり、そんな子どもたちは、地元大分の数々の魅力、良さに気づかないまま、都会にでるに違いありません。その結果、益々、過疎化、高齢化が進んでしまいます。

「大分弁」を胸を張って使うということは、地域の文化や暮らしに誇りを持つことです。地域の将来を担う子どもたちが、ふるさと大分を好きになれば、大人になっても大分で暮らし、大分の産業や文化をさらに発展させ、次の世代へと受け渡していけるでしょう。

また、方言は、親の懷に抱かれているような暖かさを、いつも感じさせてくれます。人の温かさや情けも、感じさせてくれます。そんな力を持っています。

凶悪事件やオレオレ詐欺、人の心が、少しおかしくなった今の時代ですが、方言の持つ「優しさ」「暖かさ」が、すさんだ心を、重たい気持ちを、少しでも軽くしてくれれば、と思っています。

皆さんも、是非、大分弁をたくさん使って、回りの方と、大分らしい、暖かい会話をさせていただきたいと思います。

ロータリークラブの基本理念は、自分を通じて地域や世界に奉仕することであると伺っております。

このような、ベーシックな理念のもと、地域に奉仕してこられた、会員の皆様方の、今後のご健康と、更なるご活躍をお祈りいたします。

本日は、お招きいただきましてありがとうございました。

会員コラム

中島 澄人

新聞のコラムの欄に便秘の方は足のふくらはぎをよく揉みますと便通が良くなるという記事が出ていました。はっと思いが当たったのが、軍隊に入隊した当時の事でした。1つ星の二等兵で将校の馬当番として馬の世話をしていた時、朝夕馬体の清掃をするのですが脚の部分は糞束でこすっていました。これで馬糞が良く出るんだそうです。馬糞は手ですくい処理する様指示されていました

が、何とも気持ちが悪く、上官が居ない時は足で寄せ集め捨てていました。しかし或る日上官に見られてしまいました。中島ちょっと来い、俺が言っている事が出来ないのか、眼鏡を外せ。「気をつけー」の号令一下、いきなり往復ビンタです。それでも糞を手でつかむのは気持ちが良いものではないですよ。

今回は、土谷昌秀会員です。